

<出版社を知るシリーズ 第3回>

学術専門出版社「雄山閣」の100年 —社史研究家と語る、その存続の理由—



雄山閣の歩みを語る出版物



昭和5（1930）年に新築した雄山閣ビル。
東京市麹町区飯田町（現：千代田区富士見）

大正5（1916）年に創業し、今年100周年を迎える雄山閣は、きわめて小さな学術専門出版社です。創業以来、ベストセラーはめったになく、考古学、日本史、民俗学などの学術専門書出版を続けてきました。戦前、戦中そして戦後の発展期さらにバブル崩壊など、激動する社会の荒波の中で100年存続できたのはなぜか。波乱万丈の小出版社の100年を、多くの企業の来し方を熟知する社史研究家・村橋勝子氏と共に、日本の他の企業の例と比べながらその理由を探り、そこから見えてくる出版の意義と未来について考えます。聞き手は、雄山閣百年史のノンフィクションノベルに取り組んでいる文筆家の西端真矢氏。

講師

● 村橋 勝子（社史研究家）

元・経済団体連合会情報メディアグループ長。在職中に1万冊の社史を読み、斬新な切り口で多面的に実態を分析した『社史の研究』（ダイヤモンド社 2002年）にまとめる。社史研究の第一人者。

● 西端 真矢（文筆家）

各種雑誌やウェブサイトで、随筆、取材記事、インタビュー記事を多数寄稿。雄山閣百年史をノンフィクション小説の形式で執筆中。

開催概要

- 日時：2016年7月22日（月）19:00～20:30（18:30 開場）
- 会場：日比谷図書文化館 4階 スタジオプラス（小ホール）
- 定員：60名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1,000円
- 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）いずれかにて
① 講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。